



こうなりたい。
だから今これをする

という教訓でもみえる。
しかし一方で、過去から現在を、あるいは未来から現在を見るのは、ずいぶんその後の生き方は異なってくるのではないかと思つたりもする。

さて、枕はここまで。実は先月下旬、ある研修会に参加した。研修先は徳島県上勝町と市内にある講演会場。その講演会では、同じく徳島県神山町の、いわゆるまちおこし事例だった。

使えるものは、クルクルまわって使われることで、ゴミにならない

世には想像力と創造力のある人はたくさんいて、そのうちの何人かは、足りない中で工夫する活動にのめり込む人もいよいよまずはそこから始める。

事例に見る町おこしに関わっている人々の共通点は、なりたての未来から逆算し今何をすべきかを算出し実行している。

「今」とは過去の蓄積であり未来の前提でもある。もちろん求める姿が過去の状況なら過去が

また未来になる。どちらにしろ
未来が見えねば策はない。いわ
ばだれもがやるスケジュール管
理、逆算の手法だが、要はやる
かやらぬかだ。

山の中の過疎の町の挑戦

しかし一方で、過去から現在を、あるいは未来から現在を見るのは、ずいぶんその後の生き方は異なってくるのではないかと思つたりもする。さて、枕はここまで。実は先月下旬、ある研修会に参加した。研修先は徳島県上勝町と市内にある講演会場。その講演会では、同じく鹿児島県串丁町、つや

時を巻き戻したい思いは、人なら誰でも一度は抱く願望かも知れないが、現在は過去と未来につながっているゆえに、どの時点をいじっても別的人生に影響を与えるにはおかげ、必ずしも良い結果ばかりとは限らない。

「バツク・トウ・ザ・ブユーチャー」という映画がある。最新版もリリースされているようだが、三十年前の第一話は、現在から過去へ、過去から現在へ、そしてさらに未来へとタイムマシンで飛び、主人公が活躍するおはなし。

ゴミを出さないことで自治体経費の節減を目指す

町としても有名で、二〇二〇年までに排出ゴミをゼロにし、環境美化と自治体のゴミ処理費の激減を両立させようとしている。何でもそうだが、軌道にのるまでは苦労はつきもの。現在に至るまでにおよそ三〇年の月日がかかっている。成功している現在だが課題は何處も同じ。どう未来につなげてゆくか、持続可能かどうか、だ。

神山町は、やはり人口が一九七〇年代の一万四千人から今は半減の六千人弱。主産業は柑橘類（すだち）と京都祇園祭りで行われる日扇。ここもまた過疎化に揉まれてきた上勝町と状況は異ならない。

創造的人物の感性に、町のありかたを委ねてみる

がりでそこで関わる人が増え、地域の活力が高まつてゆく。具体的には都市に務めている人が、作業場所を田舎に移し、そこで仕事をする。インターネットを使って出来る仕事なら作業場所は選ばない。あるいはそこへ来る人たちは空き家を使ってもらう。使い方は使う人にゆだね自由に。

よ的るりな

さんも「いいよね。」って。
昨年子どもむけの憲法口語訳
の本が出たと知り、読んでみた
いと思いつつチャンスがなか
つた。よし、ここは読んでみよ
うと、恐ろしい挑戦をする事に
した。カズミさんが「買わなく
ていいよ。私が持っているのを
読んで！」と、その日のうちに
届けてくれた。
前文読みました。何度も。
日本国民は、国家の名譽にか
け、全力をあげてこの崇高な理

私のモヤモヤのひとつ。安保法案成立。や集会が開かれている。私も何か意思表示がしたいけど、やれ遠いだの、時間がと、とても身勝手な理由をつけてくすぐつていた。そんな時「憲法を語りましょう」とタイムマリーノお誘いがあった。以前にも紹介した水野スウさんが優しく語つてくれ、少し心のモヤモヤも薄れた。その中の男性が「僕は憲法の前文が好きなんです。」スウ

きどぐち 五

●地区のお年寄り達の交流会です。
●毎月第2火曜はやよみ亭・第3火曜は弓削土生集会所で開催しています。
●11月は10日と17日。●12月は8日と15日。
お問い合わせは、NPO頼れるふるさとネット
0897・72・9188まで



弓削通信

ラジオニックス

2015.11.15 №65 (通巻 192) Since 1991.6
 発行者 平山和昭 電&Fax 0897-77-3072
 〒794-2509 愛媛県越智郡上島町弓削土生 318-2
 メール yuguru3@ray.ocn.ne.jp
 フェイスブック http://www.facebook.com/kazuaki.hirayama_fish
 ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/yuguru_fish

海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会（参加自由）
 （毎月 25 日 13 時～。生名中央公民館 2F 青年学級室
 で開催しています。どうぞ暇にいでください）

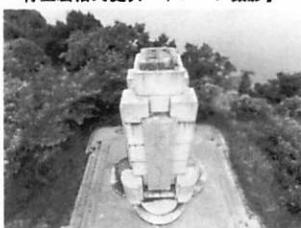
（18）

【濱田國太郎の出家】④

吉井良久（雷声寺住職）

国太郎さんの心からの船員戦没者の供養自体それはそれで大切である。しかし、そうではあるけれども、国太郎さんは、船員供養のためのお寺「雷声寺」その社会的存立そして認知のための基盤でもある一種の権威形式も強く求めたようです。雷声寺開山供養に伝統宗派の管長、それ以外に組合役員や政治家にも来賓出席を求めています。讃岐琴平宮から招請した「金毘羅大權現」を公開し、さらには将来の国宝指定を詠うなど社会的権威はとても必要だと考えていた様子がうかがえ、やはり政治家社会運動家濱田國太郎のこころと姿が滲み出ています。

【写真は国太郎銅像台座俯瞰（生名島）撮影：写真家・村上宏治氏提供 ドローン撮影】



以下は濱田家の方にお聞きしたお話を聞き書きの項目です。
・浜田國

太郎さんはどうにかして「雷声寺」を高野山真言宗の末寺に加えてもらおうと考えていた。国太郎さんにとってお寺とは高野山であり、坊さんといえば弘法大師空海であった。

・高野山へ赴き、真言宗への末寺加入と住職認定の願いをし、交渉も進めた。しかした易くはなかったようである。恐らく国太郎さんの住職認定に必要な教師資格（何年間か宗の定めた修行の履修完了が必要）が難しかったのでしょうか。

・折しも高野山で、国太郎さんは、修行と勉学のために各宗派の多くの僧侶が、奈良東大寺に時を定めて集まり会していることを聞きつけた。話がうまくいかず途方に暮れていた国太郎雷声上人を高野山僧侶の誰かは知らないが気の毒に思ってこっそりと教えたようである。

・その情報に願いをかけて、国太郎さんは東大寺に出かけた。

議会は、住民の幸福のためにのみ存在する

敗戦後七〇年、議会制民主主義はまだ発展途上中

先月号で上島町議会では議会基本条例を、来年三月定期議会で議案上程できるように作業を進めているレポートをさせていただきました。その中でこの条例をつくる目的、「議会が上島町の向上及び町勢の発展に寄与する（第一条）」達成のために、民の付託に応え、町民全体の福祉の向上における議員間討議が重要課題であると示させていた

だきました。ところがその議員間討議なるものは、実は議会内部の問題であり、そんなことは当然ではないかとの思いが、もしかしたら読者の皆様にはあつたかもしれません。当たり前のことですが、議員は議論したの？と言われるわが町の議会については、議会と理事者、議員と理事者という対立、あるいはその間での議論はあっても、施策につき（その代表的なものが議案）議員間で



議員活動録には複数の会派が構成されるほど議会であれば話は別かもしれないが、本会議での議決にあたり、反対討論、賛成討論といふ場はあっても、それは最終段階のもので、そこに至るまでに、議員間について様々な意見が議員間で戦わされてのことであったかどうか。個々の議員にそれぞれの見解があるにしても、それを公開の場で、議員同士が論を戦わす姿が町民の皆さん的眼に触れることがあつたかどうか。

案件については、起案者である理事者が議員が説明を求め、理事者に対する質疑があつても、そののち、議員同士でその

件につき議論があつたのかどうか。実はそれが町民には見えないまま賛否が決定され始めたのが、これまでの有様ではなくたのでしょうか。

つまり議員間討議とは、最終決定権が議員にあるのだから、議員同士でしつかり意見を戦わ

切りに十月二十六日までに岩城、生名、弓削で開催した「町民と議会議員との意見交換会」（懇談会を意見交換会に改称）は、本年五月二十一日の魚島を皮切りに各意見交換会では、条例案作成の担当として、基本条例についてごく簡単に説明させていたが、印象では皆様の

感覚に落ち、納得していただくな

いと願っております。

議会が町民の手足となるには

議会が町民の皆さんと共にあります。

そのためには、議員自らの努力も当然ですが、町民の皆さんにも

議会の仕組み、あるべき姿を共に認識していただく必要があります。

ななお条例案について、議会が町民の手足となるには

案上程までに皆様方に供覧され

るようになります。その

節は忌憚のないご意見を頂きた

くことになります。

この国に横行しているのは周

囲問題、増える狂気に満ちた殺人、世の中あらぬ方向へ進んでいるように思えます。

人類は発展してきた筈なのに何故平和にならないのでしょうか、何故いじめや差別は無くなるのでしょうか。人種、部落、職業、障害、性別といった差別が

週間に向けて人権の集いや啓蒙活動が活発になりますね。世界的な経済危機、中東の内戦、南シナ海沖の米中の攻防、辺野古埋立で揺れる沖縄、原発再稼働

問題、増える狂気に満ちた殺人、世の中あらぬ方向へ進んでいるように思えます。

この国に横行しているのは周

囲問題、増える狂気に満ちた殺人、世の中あらぬ方向へ進んでいるように思えます。

この国に横行しているのは周